

テスト問題を作ろう

国語の中で特に現代文は「何を勉強したらいいのかわからない。」と良く聞かれる。この言葉を正確に分析すると、「何を勉強したらテストでいい点数がとれるのかわからない。」ということを含んでいる。

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」ということわざがある。つまり、「テストの作り手（敵）の立場に立てば、どういう問題を出したくなるのか考えることになる。その立場に立てばテスト対策は万全になる。」

『課題』

次のA～C文章から1つ選んで（各文章3班）、選んだ文章に関する問題を作成する。ただし、形式は後に定めるとおりにする。

【文章A】「鉄塔を登る男」（前半）	10 頁	11 行
【文章B】「鉄塔を登る男」（後半）	13 頁	13 行
【文章C】「遠さの構造」	18 頁	21 頁

形式	問一……漢字の読み・書き合計5問（各2点）	問二……指示語の問題（文中の「これ」は何を指すか？）というような問題2問 各5点×2問	問三……語句の意味の問題4問。三択問題にすること。（各2点×4問）	問四……文中から語句や文を抜き出させる問題。（6点）	問五……記述問題（問う内容は自由 8点）	問六……記述問題（問う内容は自由 8点）	合計50点満点

『条件』

クラスの自分達の班以外のメンバーに問題を解いてもらつたとき、解いた者全員が25点以上、40点以下になる問題を作る。

『手順』

- 班でどの文章で作るか決める。
- 各人で考え、各人が問題を提出する。
- 班で各人が作成した問題を寄せ集め、一つのテストを作成する。
- 模範解答を作成する。
 - 他の班のメンバーに問題を解いてもらう。
 - 解いてもらつた問題を採点し、提出する。

『補足』

良い問題があつたら、学年末考査にそのまま使用する。